

施工プロセス検査（出来形）チェックシート

施工プロセス検査(出来形) チェックシート

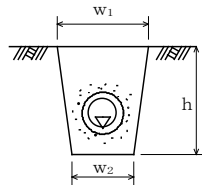
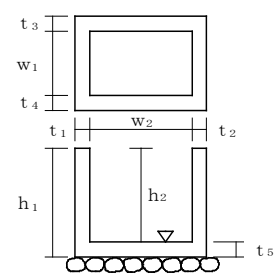
(期間: 年 月 日 ~ 年 月 日)

工事名:	対象箇所:
------	-------

主任検査職員名	印
品質検査員名	印

【土木工事共通編:一般施工】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位:mm

寸法確認			工種	測定基準・測定箇所	測定項目	規格値	上段:日付・チェック欄、下段:測定表値(検査値)							備考				
節	条	枝番					/ □ ()	/ □ ()	/ □ ()	/ □ ()	/ □ ()	/ □ ()	/ □ ()		/ □ ()			
3 共 通 的 工 種	29	3	暗渠工	施工延長40m(測点間隔25mの場合50m)につき1箇所。 延長40m(又は50m)以下のものは1施工につき2箇所。 (なお、製品使用の場合は、製品寸法は、規格証明書等による。)		基準高 ▽	±30	/ □ ()	/ □ ()	/ □ ()	/ □ ()	/ □ ()	/ □ ()	/ □ ()				
						幅 w ₁ , w ₂	-50	/ □ ()	/ □ ()	/ □ ()	/ □ ()	/ □ ()	/ □ ()	/ □ ()	/ □ ()	/ □ ()		
						深 さ h	-30	/ □ ()	/ □ ()	/ □ ()	/ □ ()	/ □ ()	/ □ ()	/ □ ()	/ □ ()	/ □ ()	/ □ ()	
						延 長 L	-200	/ □ ()	/ □ ()	/ □ ()	/ □ ()	/ □ ()	/ □ ()	/ □ ()	/ □ ()	/ □ ()	/ □ ()	
30			集水柵工	1箇所毎 ※は、現場打部分のある場合		基準高 ▽	±30	/ □ ()	/ □ ()	/ □ ()	/ □ ()	/ □ ()	/ □ ()	/ □ ()				
						※厚さ t ₁ ~t ₅	-20	/ □ ()	/ □ ()	/ □ ()	/ □ ()	/ □ ()	/ □ ()	/ □ ()	/ □ ()	/ □ ()		
						※幅 w ₁ , w ₂	-30	/ □ ()	/ □ ()	/ □ ()	/ □ ()	/ □ ()	/ □ ()	/ □ ()	/ □ ()	/ □ ()	/ □ ()	
						※高さ h ₁ , h ₂	-30	/ □ ()	/ □ ()	/ □ ()	/ □ ()	/ □ ()	/ □ ()	/ □ ()	/ □ ()	/ □ ()	/ □ ()	
31			現場塗装工	塗装終了時に測定。 1ロットの大きさは500㎡とする。 1ロット当たりの測定数は25点とし、各点の測定は5回行い、その平均値をその点の測定値とする。		塗 膜 厚	a. ロットの塗膜厚平均値は、目標塗膜厚合計値の90%以上。 b. 測定値の最小値は、目標塗膜厚合計値の70%以上。 c. 測定値の分布の標準偏差は、目標塗膜厚合計値の20%を超えない。ただし、測定値の平均値が目標塗膜厚合計値より大きい場合はこの限りではない。	/ □ ()	/ □ ()	/ □ ()	/ □ ()	/ □ ()	/ □ ()	/ □ ()	/ □ ()			

施工プロセス検査(出来形) チェックシート

(期間: 年 月 日 ~ 年 月 日)

工事名:	対象箇所:
------	-------

主任検査職員名	印
品質検査員名	印

【土木工事共通編:一般施工】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位: mm

寸法確認			工種	測定基準・測定箇所	測定項目	規格値				上段: 日付・チェック欄、下段: 測定表値(検査値)							備考		
節	条	枝番				個々の測定値(X)		10個の測定値の平均(X10)											
						中規模以上	小規模以下	中規模以上	小規模以下										
6 一般舗装工	7	5	アスファルト舗装工 (基層工)	幅は、延長80m毎に1箇所の割とし、厚さは、1,000㎡に1個の割でコアを採取して測定。	厚さ	-9	-12	-3	-4	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □			
						()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()			
	6	6	アスファルト舗装工 (表層工)	幅は、延長80m毎に1箇所の割とし、厚さは、1,000㎡に1個の割でコアを採取して測定。	厚さ	-7	-9	-2	-3	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □		
						()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()
	6	6	アスファルト舗装工 (表層工)	幅は、延長80m毎に1箇所の割とし、厚さは、1,000㎡に1個の割でコアを採取して測定。	平坦性	-	-	-	-	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	
						()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()

工事規模の考え方
 中規模以上の工事とは、管理図等を描いた上での管理が可能な工事をいい、舗装施工面積が10,000㎡以上あるいは使用する基層および表層用混合物の総使用量が、3,000t以上の場合が該当する。
 小規模工事とは、中規模以上の工事より規模は小さいものの、管理結果を施工管理に反映できる規模の工事をいい、同一工種の施工が数日連続する場合で、次のいずれかに該当するものをいう。
 ①施工面積で2,000㎡以上10,000㎡未満。
 ②使用する基層及び表層用混合物の総使用量が500t以上3,000t未満
 厚さは、個々の測定値が10個に9個以上の割合で規格値を満足しなければならないとともに、10個の測定値の平均値(X10)について満足しなければならない。ただし、厚さのデータ数が10個未満の場合は測定値の平均値は適用しない。
 コア採取について
 橋面舗装等でコア採取により床版等に損傷を与える恐れのある場合は、他の方法によることができる。
 維持工事においては、平坦性の項目を省略することができる。

3mプロフィールメーター
 (σ)2.4mm以下
 直読式
 (足付き)
 (σ)1.75mm以下

施工プロセス検査(出来形) チェックシート

(期間: 年 月 日 ~ 年 月 日)

工事名:	対象箇所:
------	-------

主任検査職員名	印
品質検査員名	印

【土木工事共通編:一般施工】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位: mm

寸法確認			工種	測定基準・測定箇所	測定項目	規格値				上段: 日付・チェック欄、下段: 測定表値(検査値)							備考		
節	条	枝番				個々の測定値 (X)		10個の測定値の平均 (X10)											
						中規模以上	小規模以下	中規模以上	小規模以下										
6 一般舗装工	9	3	排水性舗装工 (上層路盤工) セメント(石灰) 安定処理工	幅は、延長80m毎に1箇所の割とし、厚さは、1,000㎡に1個の割でコアーを採取もしくは掘り起こして測定。	工事規模の考え方 中規模以上の工事は、管理図等を描いた上での管理が可能な工事をいい、基層および表層用混合物の総使用量が3,000t以上の場合が該当する。	厚さ	-25	-30	-8	-10	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □		
						幅	-50	-50	—	—	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □		
		4	排水性舗装工 (加熱アスファルト安定処理工)	幅は、延長80m毎に1箇所の割とし、厚さは、1,000㎡に1個の割でコアーを採取して測定。	小規模工事とは、中規模以上の工事より規模は小さいものの、管理結果を施工管理に反映できる規模の工事をいい、同一工種の施工が数日連続する場合は該当する。	厚さ	-15	-20	-5	-7	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □		
						幅	-50	-50	—	—	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □		
		5	排水性舗装工 (基層工)	幅は、延長80m毎に1箇所の割とし、厚さは、1,000㎡に1個の割でコアーを採取して測定。	橋面舗装等でコアー採取により床版等に損傷を与える恐れのある場合は、他の方法によることができる。	厚さ	-9	-12	-3	-4	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □		
						幅	-25	-25	—	—	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □		
	6			排水性舗装工 (表層工)	幅は、延長80m毎に1箇所の割とし、厚さは、1,000㎡毎に1個の割でコアーを採取して測定。	維持工事においては、平坦性の項目を省略することができる。	厚さ	-7	-9	-2	-3	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	
							幅	-25	-25	—	—	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	
							平坦性	—		3mプロフィールメーター (σ)2.4mm以下 直読式 (足付き) (σ)1.75mm以下		/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	

施工プロセス検査(出来形) チェックシート

(期間: 年 月 日 ~ 年 月 日)

工事名:	対象箇所:
------	-------

主任検査職員名	印
品質検査員名	印

【土木工事共通編:一般施工】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位:mm

寸法確認			工種	測定基準・測定箇所	測定項目	規格値			上段:日付・チェック欄、下段:測定表値(検査値)							備考
節	条	枝番				個々の測定値(X)		10個の測定値の平均(X10)								
						中規模以上	小規模以下	中規模以上								
6	10	1	透水性舗装工 (路盤工)	基準高は片側延長40m毎に1箇所の割で測定。 厚さは、片側延長200m毎に1箇所掘り起こして測定。 幅は、片側延長80m毎に1箇所測定。 ※歩道舗装に適用する。	基準高▽	±50		—	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	
										()	()	()	()	()	()	()
						厚 さ	t < 15cm	-30	-10	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □
							t ≥ 15cm	-45	-15	()	()	()	()	()	()	()
		幅		-100		—	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □			
							()	()	()	()	()	()	()			
		2	透水性舗装工 (表層工)	幅は、片側延長80m毎に1箇所の割で測定。 厚さは、片側延長200m毎に1箇所コアを採取して測定。 ※歩道舗装に適用する。	厚 さ t	-9	-3	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □			
					幅 w	-25	—	()	()	()	()	()	()			
12	1	1	コンクリート舗装工 (下層路盤工)	基準高は延長40m毎に1箇所の割とし、道路中心線および端部で測定。厚さは各車線200m毎に1箇所を掘り起こして測定。幅は、延長80m毎に1箇所の割に測定。 工事規模の考え方 中規模とは、1層あたりの施工面積が2,000㎡以上とする。 小規模とは、表層及び基層の加熱アスファルト混合物の総使用量が500t未満あるいは施工面積が2,000㎡未満。厚さは、個々の測定値が10個に9個以上の割合で規格値を満足しなければならないとともに、10個の測定値の平均値(X10)について満足しなければならない。ただし、厚さのデータ数が10個未満の場合は測定値の平均値は適用しない。 コア採取について 橋面舗装等でコア採取により床版等に損傷を与える恐れのある場合は、他の方法によることができる。	基準高▽	±40	±50	—	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □		
										()	()	()	()	()	()	()
						厚 さ		-45		-15	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □
							()	()	()	()	()	()	()			
		幅		-50		—	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □			
							()	()	()	()	()	()	()			
		2	コンクリート舗装工 (粒度調整路盤工)	幅は、延長80m毎に1箇所の割とし、厚さは各車線200m毎に1箇所を掘り起こして測定。	厚 さ	-25	-30	-8	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □			
					幅	-50		—	()	()	()	()	()			

施工プロセス検査(出来形) チェックシート

(期間: 年 月 日 ~ 年 月 日)

工事名:	対象箇所:
------	-------

主任検査職員名	印
品質検査員名	印

【土木工事共通編:一般施工】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位:mm

寸法確認			工種	測定基準・測定箇所	測定項目	規格値			上段:日付・チェック欄、下段:測定表値(検査値)							備考	
節	条	枝番				個々の測定値(X)		10個の測定値の平均(X10)									
						中規模以上	小規模以下	中規模以上									
6	12	7	コンクリート舗装工 (転圧コンクリート版工) 粒度調整路盤工	幅は、延長80m毎に1箇所の割とし、厚さは、各車線200m毎に1箇所を掘り起こして測定。 工事規模の考え方 中規模とは、1層あたりの施工面積が2,000㎡以上とする。 小規模とは、表層及び基層の加熱アスファルト混合物の総使用量が500t未満あるいは施工面積が2,000㎡未満。 厚さは、個々の測定値が10個に9個以上の割合で規格値を満足しなければならないとともに、10個の測定値の平均値(X10)について満足しなければならない。ただし、厚さのデータ数が10個未満の場合は測定値の平均値は適用しない。 維持工事においては、平坦性の項目を省略することができる。	厚さ	-25	-30	-8	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □		
					幅	-50		—	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □		
					厚さ	-25	-30	-8	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □		
		幅			-50		—	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □			
		厚さ			-9	-12	-3	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □			
		幅			-25		—	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □			
	6	12	8	コンクリート舗装工 (転圧コンクリート版工) セメント(石灰・瀝青)安定処理工	幅は、延長80m毎に1箇所の割とし、厚さは、1,000㎡に1個の割でコアを採取もしくは、掘り起こして測定。 工事規模の考え方 中規模とは、1層あたりの施工面積が2,000㎡以上とする。 小規模とは、表層及び基層の加熱アスファルト混合物の総使用量が500t未満あるいは施工面積が2,000㎡未満。 厚さは、個々の測定値が10個に9個以上の割合で規格値を満足しなければならないとともに、10個の測定値の平均値(X10)について満足しなければならない。ただし、厚さのデータ数が10個未満の場合は測定値の平均値は適用しない。 コア採取について 橋面舗装等でコア採取により床版等に損傷を与える恐れのある場合は、他の方法によることができる。	厚さ	-25	-30	-8	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	
						幅	-50		—	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	
						厚さ	-15	-4.5	-4.5	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	
			幅			-35		—	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □		
			平坦性			—		転圧コンクリートの硬化後、3mプロフィルメーターにより(σ)2.4mm以下。	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □		
			目地段差			±2			/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □		
6		12	9	コンクリート舗装工 (転圧コンクリート版工) アスファルト中間層	幅は、延長80m毎に1箇所の割とし、厚さは、1,000㎡に1個の割でコアを採取して測定。 厚さは、各車線の中心付近で型枠据付後各車線200m毎に水系又はレベルにより1測線当たり横断方向に3箇所以上測定、幅は、延長80m毎に1箇所の割で測定、平坦性は各車線毎に版縁から1mの線上、全延長とする。 隣接する各目地に対して、道路中心線及び端部で測定。	厚さ	-9	-12	-3	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	
						幅	-25		—	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	
						厚さ	-15	-4.5	-4.5	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	
			幅			-35		—	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □		
			平坦性			—		転圧コンクリートの硬化後、3mプロフィルメーターにより(σ)2.4mm以下。	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □		
			目地段差			±2			/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □		
6	12	10	コンクリート舗装工 (転圧コンクリート版工)	厚さは、各車線の中心付近で型枠据付後各車線200m毎に水系又はレベルにより1測線当たり横断方向に3箇所以上測定、幅は、延長80m毎に1箇所の割で測定、平坦性は各車線毎に版縁から1mの線上、全延長とする。 隣接する各目地に対して、道路中心線及び端部で測定。	厚さ	-15	-4.5	-4.5	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □		
					幅	-35		—	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □		
					厚さ	-15	-4.5	-4.5	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □		
		幅			-35		—	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □			
		平坦性			—		転圧コンクリートの硬化後、3mプロフィルメーターにより(σ)2.4mm以下。	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □			
		目地段差			±2			/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □			

施工プロセス検査(出来形) チェックシート

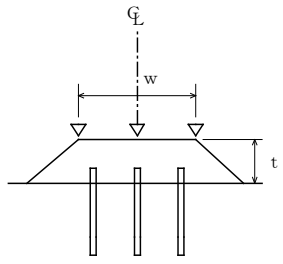
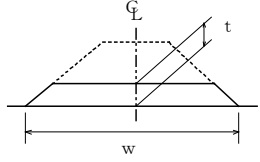
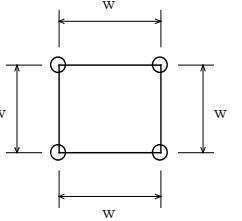
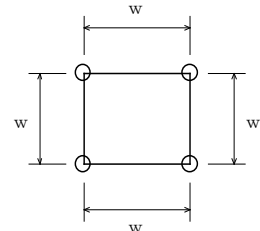
(期間: 年 月 日 ~ 年 月 日)

工事名:	対象箇所:
------	-------

主任検査職員名	印
品質検査員名	印

【土木工事共通編:一般施工】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位:mm

寸法確認		工種	測定基準・測定箇所	測定項目	規格値	上段:日付・チェック欄、下段:測定表値(検査値)							備考			
節	条 枝番					()	()	()	()	()	()	()		()		
7 地盤改良工	5	パイルネット工	施工延長40m(測点間隔25mの場合は50m)につき1箇所。 厚さは中心線及び両端で掘り起こして測定。 杭については、当該杭の項目に準ずる。		基準高 ∇	±50	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □			
					厚さ t	-50	()	()	()	()	()	()	()	()		
					幅 w	-100	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □		
					延長 L	-200	()	()	()	()	()	()	()	()	()	
	6	サンドマット工	施工延長40m(測点間隔25mの場合は50m)につき1箇所。 厚さは中心線及び両端で掘り起こして測定。		施工厚さ t	-50	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □			
					幅 w	-100	()	()	()	()	()	()	()	()		
					延長 L	-200	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □		
7 ・ 8		パーチカルドレーン工 (サンドドレーン工) (ペーパードレーン工) (袋詰式サンドドレーン工)	100本に1箇所。 100本以下は2箇所測定。1箇所に4本測定。 ただし、ペーパードレーンの杭径は対象外とする。		位置・間隔 w	±100	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □			
					杭径 D	設計値以上	()	()	()	()	()	()	()	()		
					打込長さ h	設計値以上	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	
					サンドドレーン、袋詰式サンドドレーン、サンドコンパクションパイルの砂投入量	—	()	()	()	()	()	()	()	()	()	
	9	固結工 (粉体噴射攪拌工) (高圧噴射攪拌工) (スラリー攪拌工) (生石灰パイル工)	100本に1箇所。 100本以下は2箇所測定。 1箇所に4本測定。		基準高 ∇	-50	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □			
					位置・間隔 w	D/4以内	()	()	()	()	()	()	()	()		
					杭径 D	設計値以上	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	
					深度 l	設計値以上	()	()	()	()	()	()	()	()	()	

※余長は、適用除外

施工プロセス検査(出来形) チェックシート

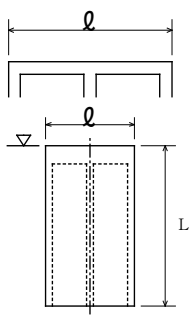
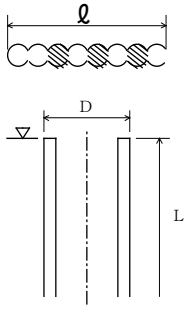
(期間: 年 月 日 ~ 年 月 日)

工事名:	対象箇所:
------	-------

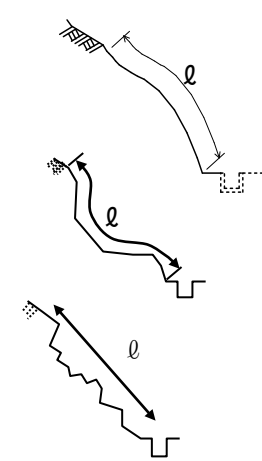
主任検査職員名	印
品質検査員名	印

【土木工事共通編:一般施工】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位:mm

寸法確認			工種	測定基準・測定箇所	測定項目	規格値	上段:日付・チェック欄、下段:測定表値(検査値)							備考	
節	条	枝番					/ □ ()	/ □ ()	/ □ ()	/ □ ()	/ □ ()	/ □ ()	/ □ ()		
10	5	5	土留・仮締切工 (中詰盛土)	施工延長50mにつき1箇所。 延長50m以下のものは、1施工箇所につき2箇所。 (任意仮設は除く)		基準高 ▽	-50	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	
								()	()	()	()	()	()	()	
9			地中連続壁工(壁式)	基準高は施工延長40m(測点間隔25mの場合は50m)につき1箇所。延長40m(又は50m)以下のものについては1施工箇所につき2箇所。 変位は施工延長20m(測点間隔25mの場合は25m)につき1箇所。延長20m(又は25m)以下のものは1施工箇所につき2箇所。		基準高 ▽	±50	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	
						連壁の長さ l	-50	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	
						変位	300	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	
						壁体長 L	-200	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	
10			地中連続壁工(柱列式)	基準高は施工延長40m(測点間隔25mの場合は50m)につき1箇所。延長40m(又は50m)以下のものについては1施工箇所につき2箇所。 変位は施工延長20m(測点間隔25mの場合は25m)につき1箇所。延長20m(又は25m)以下のものは1施工箇所につき2箇所。		基準高 ▽	±50	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □		
						連壁の長さ l	-50	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	
						変位	D/4以内	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	
						壁体長 L	-200	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	

D: 杭径



法長 l

厚さ t

但し、吹付面に凹凸がある場合の最小吹付厚は、設計厚の50%以上とし、平均厚は設計厚以上

施工プロセス検査(出来形) チェックシート

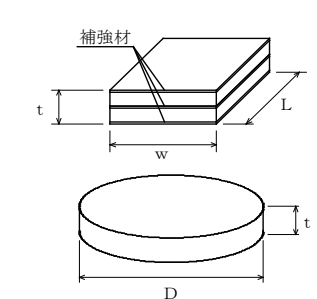
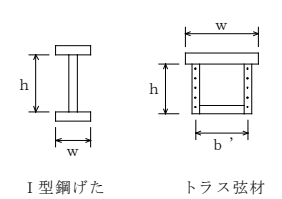
(期間: 年 月 日 ~ 年 月 日)

工事名:	対象箇所:
------	-------

主任検査職員名	印
品質検査員名	印

【土木工事共通編:一般施工】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位:mm

寸法確認			工種	測定基準・測定箇所	測定項目	規格値	上段:日付・チェック欄、下段:測定表値(検査値)							備考								
節	条	枝番					／	□	／	□	／	□	／		□	／	□					
		2	鑄造費 (大型ゴム支 沓工)	製品全数を測定。 平面度:1個のゴム支沓の厚さ(t) の最大相対誤差		幅W 長さL 直径D	W, L, D ≤ 500	0 ~ +5	／	□	／	□	／	□	／	□	／	□				
							500 < W, L, D ≤ 1500mm	0 ~ +1%	／	□	／	□	／	□	／	□	／	□	／	□		
							1500 < W, L, D	0 ~ +15	／	□	／	□	／	□	／	□	／	□	／	□		
							厚さt	t ≤ 20mm	±0.5	／	□	／	□	／	□	／	□	／	□	／	□	
								20 < t ≤ 160	±2.5%	／	□	／	□	／	□	／	□	／	□	／	□	
								160 < t	±4	／	□	／	□	／	□	／	□	／	□	／	□	
			平面度		1	／	□	／	□	／	□	／	□	／	□	／	□					
		3	仮設材製作工	図面の寸法表示箇所にて測定	部材	部材長ℓ(m)	±3・・・・h ≤ 10	／	□	／	□	／	□	／	□	／	□					
							±4・・・・h > 10	／	□	／	□	／	□	／	□	／	□	／	□			
		4	刃口金物製作工	図面の寸法表示箇所にて測定。	刃口高さh(m)	外周長L(m)	±2・・・・h ≤ 0.5 ±3・・・・0.5 < h ≤ 1.0 ±4・・・・1.0 < h ≤ 2.0	／	□	／	□	／	□	／	□	／	□					
							±(10+L/10)	／	□	／	□	／	□	／	□	／	□	／	□			
3	1	桁製作工 (仮組立による検査を実施する場合) (シュミレーション仮組立検査を行う場合)	主桁・主構 各支点及び各支間中央付近を測定。 床版など 構造別に、5部材につき1個抜き取った部材の中央付近を測定。 JIS製品を使用する場合はJIS認定工場の成績表にかえることができる。		部材精度	フランジ幅w(m) 腹板高 h(m) 腹板間隔b(m)	±2・・・・w ≤ 0.5 ±3・・・・0.5 < w ≤ 1.0 ±4・・・・1.0 < w ≤ 2.0 ±(3+w/2)・2.0 < w	／	□	／	□	／	□	／	□	／	□					
							鋼桁及びトラス等の部材の腹板	h/250	／	□	／	□	／	□	／	□	／	□	／	□	／	□
								箱桁及びトラス等のフランジ鋼床版のデッキプレート	b/150	／	□	／	□	／	□	／	□	／	□	／	□	／
							フランジの直角度 δ (mm)	w/200	／	□	／	□	／	□	／	□	／	□	／	□	／	□
							鋼桁	±3・・・・ℓ ≤ 10 ±4・・・・ℓ > 10	／	□	／	□	／	□	／	□	／	□	／	□	／	□
								トラス、アーチなど	±2・・・・ℓ ≤ 10 ±3・・・・ℓ > 10	／	□	／	□	／	□	／	□	／	□	／	□	／
		圧縮材の曲がり δ (mm)	ℓ/1000	／	□	／	□	／	□	／	□	／	□	／	□	／	□					

※規格値のW, Lに代入する数値はm単位の数値である。
 ただし、「板の平面度 δ、フランジの直角度 δ、圧縮材の曲がり δ」の規格値のh, b, w, ℓに代入する数値はmm単位の数値とする。

施工プロセス検査(出来形) チェックシート

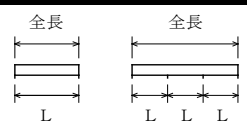
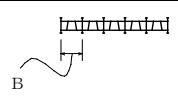
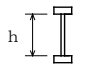
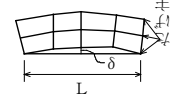
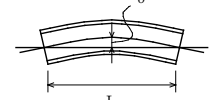
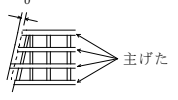
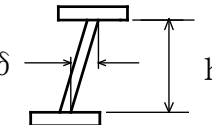
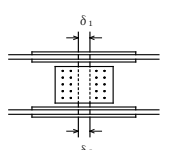
(期間: 年 月 日 ~ 年 月 日)

工事名:	対象箇所:
------	-------

主任検査職員名	印
品質検査員名	印

【土木工事共通編:一般施工】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位: mm

寸法確認			工種	測定基準・測定箇所	測定項目	規格値	上段: 日付・チェック欄、下段: 測定表値(検査値)							備考		
節	条	枝番					/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □		/ □	
3	1	桁製作工 (仮組立による検査を実施する場合) (シュミレーション仮組立検査を行う場合)	主桁、主構全数を測定		仮組立精度	全長、支間長 L(m)	$\pm(10+L/10)$	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □		
			各支点及び各支間中央付近を測定			主桁・主構の中心間距離 B(m)	$\pm 4 \dots \dots \dots B \leq 2$ $\pm(3+B/2) \dots \dots B > 2$	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	
			トラス・アーチ等 両端部及び中心部を測定			主構の組立高さ h(m)	$\pm 5 \dots \dots \dots h \leq 5$ $\pm(2.5+h/2) \dots \dots h > 5$	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	
			最も外側の主桁又は主構について 支点及び支間中央の1点を測定 L: 測線上(m)			主桁、主構の通り delta (mm)	$5+L/5 \dots \dots \dots L \leq 100$ $25 \dots \dots \dots L > 100$	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	
			鋼桁等 各主桁について10~12m間隔を測定。 L: 主桁の支間長(m) トラス・アーチ等 各主構の各格点を測定 L: 主構の支間長(m)			主桁、主構のそり delta (mm)	$-5 \sim +5 \dots \dots \dots L \leq 20$ $-5 \sim +10 \dots \dots \dots 20 < L \leq 40$ $-5 \sim +15 \dots \dots \dots 40 < L \leq 80$ $-5 \sim +25 \dots \dots \dots 80 < L \leq 200$	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	
			どちらか一方の主桁(主構)端を測定。			主桁、主構の橋端における出入り差 delta (mm)	設計値 ± 10	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	
			鋼桁等 各主桁の両端部を測定 h: 主桁の高さ(mm) トラス・アーチ等 支点及び支間中央付近を測定。 h: 主構の高さ(mm)			主桁、主構の鉛直度 delta (mm)	$3+h/1,000$	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	
			主桁、主構の全継手数の1/2を測定。 delta 1、delta 2のうち大きいもの 設計値が5mm以下の場合は、マイナスを認めない。			現場継手部のすき間 delta 1、delta 2(mm)	設計値 ± 5	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	

※規格値のL,B,hに代入する数値はm単位の数値である。
ただし、「主けた、主構の鉛直度 delta」の規格値のhに代入する数値はmm単位の数値とする。

施工プロセス検査(出来形) チェックシート

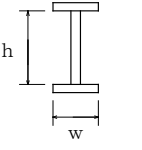
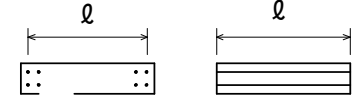
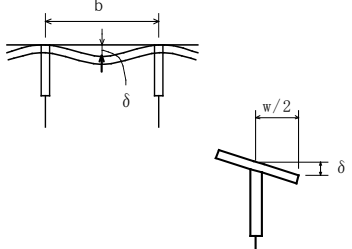
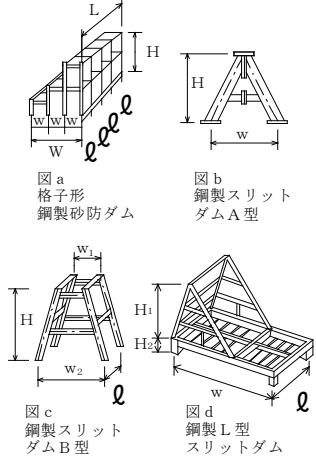
(期間: 年 月 日 ~ 年 月 日)

工事名:	対象箇所:
------	-------

主任検査職員名	印
品質検査員名	印

【土木工事共通編:一般施工】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位:mm

寸法確認			工種	測定基準・測定箇所	測定項目	規格値	上段:日付・チェック欄、下段:測定表値(検査値)							備考							
節	条	枝番					/	□	/	□	/	□	/		□	/	□				
		2	桁製作工 (仮組立による検査を実施しない場合)	主桁・主構 各支点及び各支間中央付近を測定。 床版など 構造別に、5部材につき1個抜き 取った部材の中央付近を測定。		フランジ幅w(m)	$\pm 2 \dots \dots w \leq 0.5$	/	□	/	□	/	□	/	□	/	□				
						腹板高 h(m)	$\pm 3 \dots \dots 0.5 < w \leq 1.0$	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()				
						腹板間隔b'(m)	$\pm 4 \dots \dots 1.0 < w \leq 2.0$ $\pm (3+w/2) \cdot 2.0 < w$	I型鋼げた	/	□	/	□	/	□	/	□	/	□	/	□	
						主要部材全数を測定。		部材 精度	鋼桁等の部材の 腹板	h/250	/	□	/	□	/	□	/	□	/	□	
			主桁 各支点及び各支間中央付近を測定。 h:腹板高(mm) b:腹板又はリブの間隔(mm) w:フランジ幅(mm)		板の 平面 度 δ (mm)	箱桁等のフラン ジ鋼床版のデッ キプレート	b/150	/	□	/	□	/	□	/	□	/	□				
					フランジの鉛直度 δ (mm)	w/200	/	□	/	□	/	□	/	□	/	□	/	□			
					部材 長ℓ (m)	鋼桁	$\pm 3 \dots \dots \ell \leq 10$ $\pm 4 \dots \dots \ell > 10$	/	□	/	□	/	□	/	□	/	□				
							※規格値のw、ℓに代入する数値はm単位の数値である。 ただし、「板の平面度 δ、フランジの直角度 δ」の規格値のh、b、wに代入する数値はmm単位の数値とする。														
		3	桁製作工 (鋼製堰堤製 作工(仮組立 時))	全数を測定。		部材の水平度	10	/	□	/	□	/	□	/	□	/	□				
						堤 長 L	±30	/	□	/	□	/	□	/	□	/	□	/	□		
						堤 長 ℓ	±10	/	□	/	□	/	□	/	□	/	□	/	□		
						堤 幅 W	±30	/	□	/	□	/	□	/	□	/	□	/	□	/	□
						堤 幅 w	±10	/	□	/	□	/	□	/	□	/	□	/	□	/	□
						高 さ H	±10	/	□	/	□	/	□	/	□	/	□	/	□	/	□
						ベースプレートの高さ	±10	/	□	/	□	/	□	/	□	/	□	/	□	/	□
						本体の傾き	±H/500	/	□	/	□	/	□	/	□	/	□	/	□	/	□
		4	検査路製作	図面の寸法表示箇所で測定	部材	部材長ℓ(m)	$\pm 3 \dots \dots \ell \leq 10$ $\pm 4 \dots \dots \ell > 10$	/	□	/	□	/	□	/	□	/	□				

施工プロセス検査(出来形) チェックシート

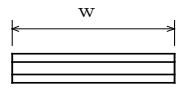
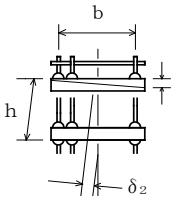
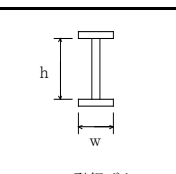
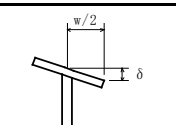
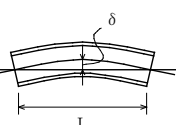
(期間: 年 月 日 ~ 年 月 日)

工事名:	対象箇所:
------	-------

主任検査職員名	印
品質検査員名	印

【土木工事共通編:一般施工】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位:mm

寸法確認			工種	測定基準・測定箇所	測定項目	規格値	上段:日付・チェック欄、下段:測定表値(検査値)							備考		
節	条	枝番					測定表	検査値	検査値	検査値	検査値	検査値	検査値		検査値	
5			鋼製伸縮装置継手製作工	製品全数を測定。 両端及び中央部付近を測定		部材	部材長w(m)	0~+30	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	
						仮組立時	組み合わせる伸縮装置との高さの差 δ 1(mm)	設計値 ±4	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	
							フィンガーの食い違い δ 2(mm)	±2	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	
6			落橋防止装置製作工	図面の寸法表示箇所にて測定		部材	部材長ℓ(m)	±3...ℓ≤10 ±4...ℓ>10	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	
7			橋梁用防護柵製作工	図面の寸法表示箇所にて測定		部材	部材長ℓ(m)	±3...ℓ≤10 ±4...ℓ>10	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	
8			アンカーフレーム製作工	軸心上全数測定。		仮組立時	上面水平度 δ 1(mm)	b/500	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	
							鉛直度 δ 2(mm)	h/500	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	
							高さh(mm)	±5	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	
9			プレベーム用桁製作工	各支点及び各支間中央付近を測定		部材	フランジ幅w(m)	±2...w≤0.5 ±3...0.5<w≤1.0 ±4...1.0<w≤2.0 ±(3+w/2)・2.0<w	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	
				腹板高 h(m)				/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □		
				各支点及び各支間中央付近を測定				フランジの直角度 δ (mm)	w/200	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □
				原則として仮組立をしない部材について主要部材全数で測定。				部材長ℓ(m)	±3...ℓ≤10 ±4...ℓ>10	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □
各主桁について、10~12m間隔を測定。		仮組立時	主桁のそり δ (mm)	-5~+5...L≤20 -5~+10...20<L≤40	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □					
						/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □				
10			鋼製配水管製作工	図面の寸法表示箇所にて測定		部材	部材長ℓ(m)	±3...ℓ≤10 ±4...ℓ>10	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	

施工プロセス検査(出来形) チェックシート

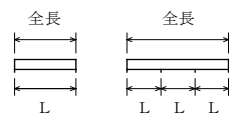
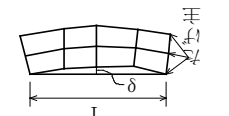
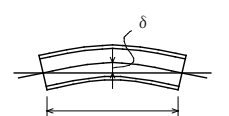
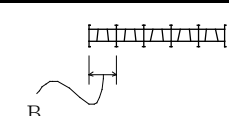
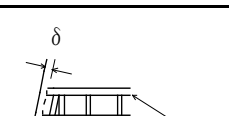
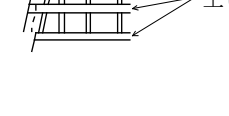
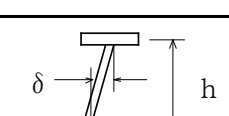
(期間: 年 月 日 ~ 年 月 日)

工事名:	対象箇所:
------	-------

主任検査職員名	印
品質検査員名	印

【土木工事共通編:一般施工】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位:mm

寸法確認			工種	測定基準・測定箇所	測定項目	規格値	上段:日付・チェック欄、下段:測定表値(検査値)							備考												
節	条	枝番					/	□	()	/	□	()	/		□	()	/	□	()							
1 3 橋 梁 架 設 工	1		架設工 (鋼橋) (クレーン架 設) (ケーブルク レーン架設) (ケーブルエレ クション架設) (架設桁架設) (送出し架設) (トラベラーク レーン架設)	各桁毎に全数測定。 L:主桁・主構の支間長(m)		全長・支間長L(m)	$\pm(20+L/5)$	/	□	()	/	□	()	/	□	()	/	□	()	/	□	()				
				L:主桁・主構の支間長(m)		通 り δ (mm)	$\pm(10+2L/5)$	/	□	()	/	□	()	/	□	()	/	□	()	/	□	()	/	□	()	
				主桁、主構を全数測定。 L:主桁・主構の支間長(m)		そ り δ (mm)	$\pm(25+L/2)$	/	□	()	/	□	()	/	□	()	/	□	()	/	□	()	/	□	()	
				各支点及び各支間中央付近を測 定。		※主桁、主構の中心 間距離B(m)	$\pm 4 \cdots B \leq 2$ $\pm(3+B/2) \cdots B > 2$	/	□	()	/	□	()	/	□	()	/	□	()	/	□	()	/	□	()	
				どちらか一方の主桁(主構)端を測 定。		※主桁の橋端におけ る出入差 δ (mm)	設計値 ± 10	/	□	()	/	□	()	/	□	()	/	□	()	/	□	()	/	□	()	
				各主桁の両端部を測定。 h:主桁・主構の高さ(mm)		※主桁、主構の鉛直 度 δ (mm)	$3+h/1,000$	/	□	()	/	□	()	/	□	()	/	□	()	/	□	()	/	□	()	
				主桁、主構の全継手数の1/2を 測定。 δ_1, δ_2 のうち大きいもの 設計値が5mm以下の場合、マイ ナスを認めない。		※現場継手部のすき 間 δ_1, δ_2 (mm)	設計値 ± 5	/	□	()	/	□	()	/	□	()	/	□	()	/	□	()	/	□	()	

※は仮組立検査を実施しない工事に適用

※規格値のL, Bに代入する数値はm単位の数値である。
ただし、「主桁、主構の鉛直度 δ 」の規格値のhに代入する数値はmm単位の数値とする。

施工プロセス検査(出来形) チェックシート

(期間: 年 月 日 ~ 年 月 日)

工事名:	対象箇所:
------	-------

主任検査職員名	印
品質検査員名	印

【土木工事共通編:一般施工】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位:mm

寸法確認			工種	測定基準・測定箇所	測定項目	規格値	上段:日付・チェック欄、下段:測定表値(検査値)							備考	
節	条	枝番					測定表値(検査値)	測定表値(検査値)	測定表値(検査値)	測定表値(検査値)	測定表値(検査値)	測定表値(検査値)	測定表値(検査値)		測定表値(検査値)
1 3 橋梁架設工	1		架設工(コンクリート橋) (クレーン架設) (架設桁架設)	各桁毎に全数測定。 一連毎の両端及び支間中央について各上下間を測定。 主桁を全数測定。	全長・支間	—	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □		
							()	()	()	()	()	()	()		
							桁の中心間距離	—	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □
()	()	()	()	()	()	()									
そり	—	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □							
		()	()	()	()	()	()	()							
1 4 法面工 共通	2	1	植生工 (種子散布工) (張芝工) (筋芝工) (市松芝工) (植生シート工) (植生マット工) (植生筋工) (人工張芝工) (植生穴工)	施工延長40m(測点間隔25mの場合は50m)につき1箇所、延長40m(又は50m)以下のものは1施工箇所につき2箇所	切土 法長 ℓ	ℓ<5m	-200	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	
								()	()	()	()	()	()	()	
						ℓ≥5m	法長の-4%	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	
								()	()	()	()	()	()	()	
	法長 ℓ	ℓ<5m	-200	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □					
				()	()	()	()	()	()	()					
	法長 ℓ	ℓ≥5m	法長の-4%	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □					
				()	()	()	()	()	()	()					
	厚さ t	t<5cm	-10	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □					
				()	()	()	()	()	()	()					
t≥5cm		-20	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □						
	()		()	()	()	()	()	()							
				但し、吹付面に凹凸がある場合の最小吹付厚は、設計厚の50%以上とし、平均厚は設計厚以上。											
1施工箇所毎					延長 L	-200	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □		

施工プロセス検査(出来形) チェックシート

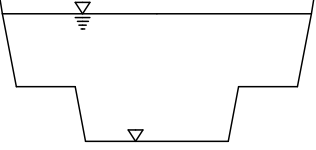
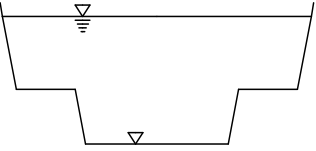
(期間: 年 月 日 ~ 年 月 日)

工事名:	対象箇所:
------	-------

主任検査職員名	印
品質検査員名	印

【土木工事共通編: 共通施工】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位: mm

寸法確認			工種	測定基準・測定箇所	測定項目	規格値		上段: 日付・チェック欄、下段: 測定表値(検査値)							備考									
節	条	枝番				上限	下限																	
1 6 浚 渫 工 共 通	3	1	浚渫船運転工 (ポンプ浚渫船)	延長方向は、設計図書により指定された測点毎。 横断方向は、5m毎。 また、斜面は法尻、法肩とし必要に応じ中間点も加える。ただし、各測定値の平均値の設計基準高以下であること。		基準高▽	電気船	200ps	+200	-800	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □							
								500ps	+200	-1000	()	()	()	()	()	()	()							
								1,000ps	+200	-1200	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □							
								250ps	+200	-800	()	()	()	()	()	()	()							
								420ps 600ps	+200	-1000	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □							
								1,350ps	+200	-1200	()	()	()	()	()	()	()							
							幅		-200		/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □							
							延長		-200		/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □							
											()	()	()	()	()	()	()							
							2	2	1	浚渫船運転工 (グラブ船)	延長方向は、設計図書により指定された測点毎。 横断方向は、5m毎。 また、斜面は法尻、法肩とし必要に応じ中間点も加える。ただし、各測定値の平均値の設計基準高以下であること。		基準高▽	上限+200		/ □	/ □		/ □	/ □	/ □	/ □		
														幅		-200			/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □
														延長		-200			/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □
																			()	()	()	()	()	()

施工プロセス検査(出来形) チェックシート

(期間: 年 月 日 ~ 年 月 日)

工事名:	対象箇所:
------	-------

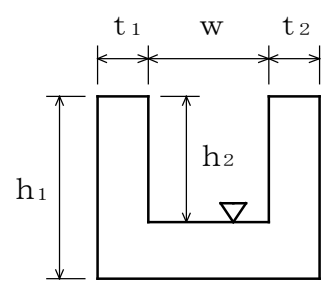
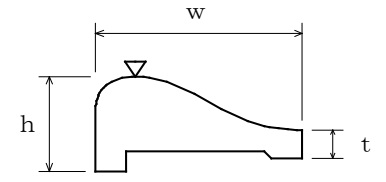
主任検査職員名
品質検査員名

	印
	印

【河川編: 堰】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位: mm

寸法確認			工種	測定基準・測定箇所	測定項目	規格値	上段: 日付・チェック欄、下段: 測定表値(検査値)							指摘事項								
節	条	枝番					／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □		／ □	()	()	()	()	()	()	
6	13 ・ 14		閘門工、 土砂吐工	図面の寸法表示箇所 で測定。	基準高 ∇	± 30	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	()	()	()	()					
					厚 さ t	-20	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	()	()	()	()			
					幅 w	-30	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	()	()	()	()		
					高 さ h	± 30	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	()	()	()	()		
					延 長 L	-50	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	()	()	()	()		
7	8 ・ 9 ・ 10		堰本体工 水叩工 土砂吐工	基準高、幅、高さ、厚さは両 端、施工継手箇所及び構造 図の寸法表示箇所 で測定。	基準高 ∇	± 30	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	()	()	()	()					
					厚 さ t	-20	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	()	()	()	()		
					幅 w	-30	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	()	()	()	()		
					高 さ h	± 30	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	()	()	()	()		
					堰長 L	L < 20m	-50	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	()	()	()	()	
						L \geq 20m	-100	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	()	()	()	()	
8	3		魚道本体工	施工延長40m(測点間隔25m の場合は50m)につき1箇所、 40m(又は50m)以下のもの は1施工箇所につき2箇所。 (なお、製品使用の場合の製 品寸法は、規格証明書等に よる)	基準高 ∇	± 30	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	()	()	()	()					
					厚さ t1, t2	-20	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	()	()	()	()		
					幅 w	-30	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	()	()	()	()		
					高さ h1, h2	-30	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	()	()	()	()		
					延 長 L	-200	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	()	()	()	()	



施工プロセス検査(出来形) チェックシート

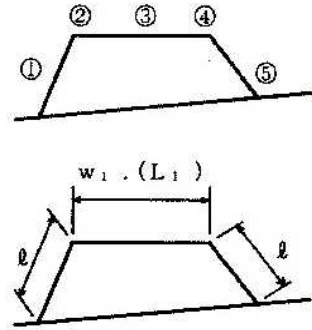
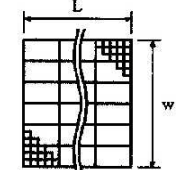
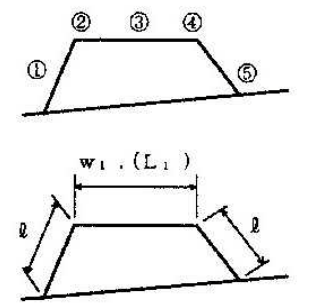
(期間: 年 月 日 ~ 年 月 日)

工事名:	対象箇所:
------	-------

主任検査職員名	印
品質検査員名	印

単位: mm

【河川海岸編: 突堤人工岬】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

寸法確認			工種	測定基準・測定箇所	測定項目	規格値	上段: 日付・チェック欄、下段: 測定表値(検査値)							備考							
節	条	枝番					／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □		／ □	()	()	()	()	()	()
4	4		捨石工	施工延長10mにつき、1測点当たり5点以上測定。 	基準高▽	本均し	±50	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	()	()	()	()			
						表面均し	±100	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	()	()	()	()	
						荒均し	異形ブロック据付面(乱積)の高さ	±500	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	()	()	()	()
							異形ブロック据付面(乱積)以外の高さ	±300	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	()	()	()	()
						被覆均し	異形ブロック据付面(乱積)の高さ	±500	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	()	()	()	()
							異形ブロック据付面(乱積)以外の高さ	±300	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	()	()	()	()
						法長 α	-100	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	()	()	()	()	
						天端幅 w_1	-100	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	()	()	()	()	
天端延長 L_1	-200	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	()	()	()	()							
4	5		吸出し防止工	施工延長40m(測点間隔25mの場合は50m)につき1箇所、延長40m(又は50m)以下のものは1施工箇所につき2箇所 		幅 w	-300	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	()	()	()	()			
						延長 L	-500	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	()	()	()	()	
5	2		捨石工	施工延長10mにつき、1測点当たり5点以上測定。 	基準高▽	異形ブロック据付面(乱積)の高さ	±500	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	()	()	()	()			
						異形ブロック据付面(乱積)以外の高さ	±300	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	()	()	()	()	
						法長 α	-100	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	()	()	()	()	
						天端幅 w_1	-100	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	()	()	()	()	
						天端延長 L_1	-200	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	()	()	()	()	

施工プロセス検査(出来形) チェックシート

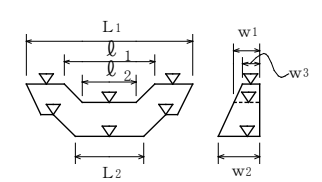
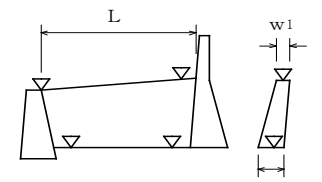
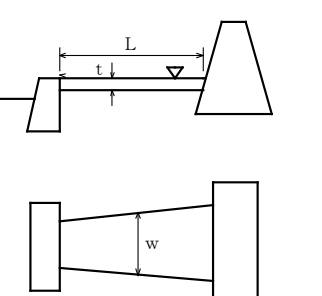
(期間: 年 月 日 ~ 年 月 日)

工事名:	対象箇所:
------	-------

主任検査職員名	印
品質検査員名	印

【砂防編:砂防堰堤】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位:mm

寸法確認			工種	測定基準・測定箇所	測定項目	規格値	上段:日付・チェック欄、下段:測定表値(検査値)							備考			
節	条	枝番					／ □ ()	／ □ ()	／ □ ()	／ □ ()	／ □ ()	／ □ ()	／ □ ()		／ □ ()		
3 工場 製作 工	4		鋼製堰堤仮設材製作工	図面の寸法表示箇所にて測定。	部 材	部材長ℓ(m)	±3…… ℓ ≤ 10	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □			
							±4…… ℓ > 10	()	()	()	()	()	()	()	()		
								／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □			
							()	()	()	()	()	()	()				
8 コン クリ ート 堰 堤 工	4		コンクリート堰堤本体工	図面の表示箇所にて測定。 	部 材	基準高 ▽	±30	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □			
							天端部 堤幅 w1, w3 w2	-30	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □		
							水通しの幅ℓ1, ℓ2	±50	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □		
							堤長 L1, L2	-100	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □		
								()	()	()	()	()	()				
	6			コンクリート側壁工	1. 図面の寸法表示箇所を測定。 2. 上記以外の測定箇所の標準は、天端幅・天端高で各測点及びジョイント毎に測定。 3. 長さは、天端中心線の水平延長、又は、測点に直角な水平延長を測定。 	部 材	基準高 ▽	±30	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □		
								幅 w1, w2	-30	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								長さ L	-100	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								()	()	()	()	()	()				
	8			水叩工	基準高、幅、延長は図面に表示してある箇所にて測定。 厚さは目地及びその中間点にて測定。 	部 材	基準高 ▽	±30	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □		
								幅 w	-100	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								厚さ t	-30	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
延長 L								-100	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □		
							()	()	()	()	()	()					

施工プロセス検査(出来形) チェックシート

(期間: 年 月 日 ~ 年 月 日)

工事名:	対象箇所:
------	-------

主任検査職員名	印
品質検査員名	印

【ダム編:コンクリートダム】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位:mm

寸法確認			工種	測定基準・測定箇所	測定項目	規格値	上段:日付・チェック欄、下段:測定表値(検査値)							備考										
節	条	枝番					/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □		()	()	()							
4 ダム コン クリ ート 工			コンクリートダム工(本体)	1. 図面の寸法表示箇所にて測定。 2. 上記以外の測定箇所は、下記を標準とする。 ①天端高(越流部堤頂高を含む)は、各ジョイントについて測定。 ②堤幅、リフト高は、各ジョイントについて5リフトごとに測定。 (注)堤幅、リフト高の測定は、上下流面型枠と水平打継目の接触部とする。(堤幅は、中心線又は、基準線との関係づけも含む) ③ジョイント間隔(横継目)は、5リフトごと上流端、下流端を対象に測定。 ④堤長は、天端中心線延長を測定。 3. ①越流堤頂部、天端仕上げなどの平坦性の測定方法は、監督職員の指示による。 ②監査廊の敷高、幅、高さ、平坦性などの測定方法は監督職員の指示による。		天端高▽	±20	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	()	()	()	()	()	()				
						天端幅	±20	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	()	()	()	()	()	()	()	
						ジョイント間隔	±30	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	()	()	()	()	()	()	()
						リフト高	±50	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	()	()	()	()	()	()	()
						堤幅	-30, +50	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	()	()	()	()	()	()	()
						堤長	-100	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	()	()	()	()	()	()	()
								/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	()	()	()	()	()	()	()
			コンクリートダム工(水叩)	1. 図面の寸法表示箇所にて測定。 2. 上記以外の測定箇所は、下記を標準とする。 ①天端高(敷高)、ジョイント間は各ジョイント、各測点の交点部を測定。 ②長さは、各ジョイントごとに測定。 ③幅は、各測点ごとに測定。 3. 水叩の平坦性の測定は監督職員の指示による。		天端高▽	±20	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	()	()	()	()	()					
						ジョイント間隔	±30	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	()	()	()	()					
						幅	±40	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	()	()	()	()					
						長さ	-100, +60	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	()	()	()	()					
								/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	()	()	()	()					

施工プロセス検査(出来形) チェックシート

(期間: 年 月 日 ~ 年 月 日)

工事名:	対象箇所:
------	-------

主任検査職員名	印
品質検査員名	印

【ダム編:基礎グラウチング】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位:mm

寸法確認			工種	測定基準・測定箇所	測定項目	規格値	上段:日付・チェック欄、下段:測定表値(検査値)							備考
節	条	枝番					()	()	()	()	()	()	()	
3 ボー リング 工			ボーリング工	ボーリング工毎 ※配置位置の規定はコンクリート 面で行うカーテングラウトに適用す る。	深 度 L	設計値以上	/	/	/	/	/	/	/	
				配置誤差	100	/	/	/	/	/	/	/	/	
					()	()	()	()	()	()	()	()	()	



施工プロセス検査(出来形) チェックシート

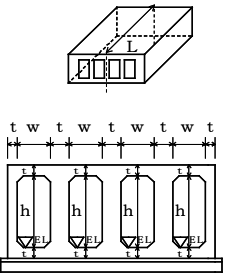
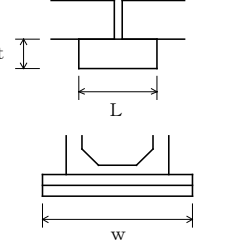
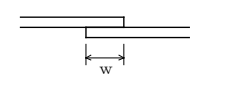
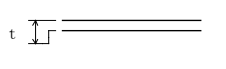
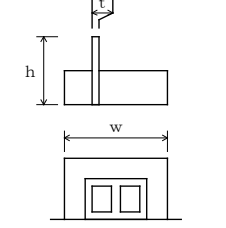
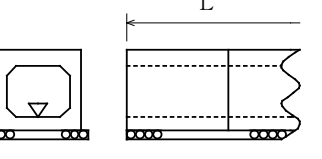
(期間: 年 月 日 ~ 年 月 日)

工事名:	対象箇所:
------	-------

主任検査職員名	印
品質検査員名	印

【道路編:共同溝】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位:mm

寸法確認			工種	測定基準・測定箇所	測定項目	規格値	上段:日付・チェック欄、下段:測定表値(検査値)							備考								
節	条	枝番					／	□	／	□	／	□	／		□	／	□					
6 現場打構築工	2		現場打躯体工	両端・施工継手箇所及び図面の寸法表示箇所にて測定。 	基準高 ▽	±30	／	□	／	□	／	□	／	□	／	□	／	□				
					厚 さ t	-20	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	
					内 空 幅 w	-30	／	□	／	□	／	□	／	□	／	□	／	□	／	□	／	□
					内 空 高 h	±30	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()
					ブロック長 L	-50	／	□	／	□	／	□	／	□	／	□	／	□	／	□	／	□
							()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()					
	4		カラー継手工	図面の寸法表示箇所にて測定。 	厚 さ t	-20	／	□	／	□	／	□	／	□	／	□	／	□				
					幅 w	-20	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	
					長 さ L	-20	／	□	／	□	／	□	／	□	／	□	／	□	／	□	／	□
							()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()					
	5	1	防水工(防水)	両端・施工継手箇所の底版・側壁・頂版にて測定。 	幅 w	設計値以上	／	□	／	□	／	□	／	□	／	□	／	□				
							()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	
					2	防水工(防水保護工)	両端・施工継手箇所の「四隅」にて測定。 	厚 さ t	設計値以上	／	□	／	□	／	□	／	□	／	□	／	□	／
		()	()	()				()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()		
	3		防水工(防水壁)	図面の寸法表示箇所にて測定。 	高 さ h	-20	／	□	／	□	／	□	／	□	／	□	／	□				
					幅 w	±50	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	
					厚 さ t	-20	／	□	／	□	／	□	／	□	／	□	／	□	／	□	／	□
							()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()				
7 プレキャスト構築工			プレキャスト躯体工	施工延長40m(測点間隔25mの場合は50m)につき1箇所、延長40m(又は50m)以下のものは1施工箇所につき2箇所。ただし、基準高の適用は据付後の段階検査時のみ適用する。 	基準高 ▽	±30	／	□	／	□	／	□	／	□	／	□	／	□				
							()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()
					延長: 1施工箇所毎	延長 L	-200	／	□	／	□	／	□	／	□	／	□	／	□			
							()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()			

施工プロセス検査(出来形) チェックシート

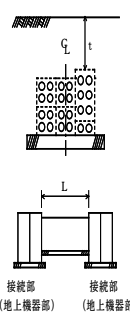
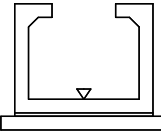
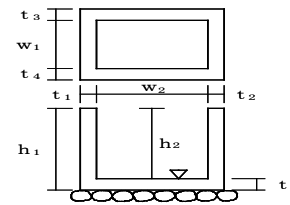
(期間: 年 月 日 ~ 年 月 日)

工事名:	対象箇所:
------	-------

主任検査職員名	印
品質検査員名	印

【道路編:電線共同溝】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位: mm

寸法確認			工種	測定基準・測定箇所	測定項目	規格値	上段:日付・チェック欄、下段:測定表値(検査値)							備考		
節	条	枝番					／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □		()	()
5 電線 共同 溝 工	2		管路工 (管路部)	接続部(地上機器部)間毎に1箇所。		埋設深 t	0~+50	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □		
				接続部(地上機器部)間毎に全数。 【管路センターで測定】		延長 L	-200	()	()	()	()	()	()	()		()
	3		プレキャスト ボックス工 (特殊部)	接続部(地上機器部)間毎に1箇所。			基準高 ▽	±30	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								()	()	()	()	()	()	()	()	
6 付 帯 設 備 工	2		ハンドホール 工	1箇所毎 ※は現場打部分のある場合		基準高 ▽	±30	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □		
				※厚さ t1~t5		-20	()	()	()	()	()	()	()	()		
				※幅 w1, w2		-30	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
				※高さ h1, h2		-30	()	()	()	()	()	()	()	()	()	

施工プロセス検査(出来形) チェックシート

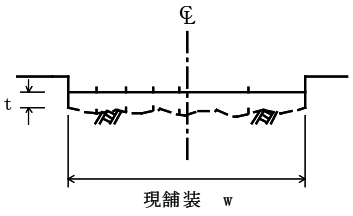
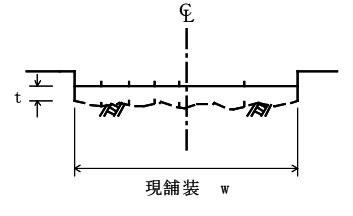
(期間: 年 月 日 ~ 年 月 日)

工事名:	対象箇所:
------	-------

主任検査職員名	印
品質検査員名	印

【道路編:道路維持】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位: mm

寸法確認			工種	測定基準・測定箇所	測定項目	規格値		上段:日付・チェック欄、下段:測定表値(検査値)							備考											
節	条	枝番				平均の測定値 (X10)	平均の測定値 (X10)	/	□	/	□	/	□	/		□	/	□	/	□						
4 舗 装 工	5		切削オーバーレイ工	厚さは40m毎に現舗装高とオーバーレイ後の基準高の差で算出する。 測定点は車道中心線、車道端及びその中心とする。 幅は、延長80m毎に1箇所の割とし、延長40m未満の場合は、2箇所/施工箇所とする。 断面状況で、間隔、測点数を変えることが出来る。		厚 さ t	-9	/	□	/	□	/	□	/	□	/	□	/	□							
						幅 w	-25	/	□	/	□	/	□	/	□	/	□	/	□	/	□	/	□			
						延 長 L	-100	/	□	/	□	/	□	/	□	/	□	/	□	/	□	/	□	/	□	
						平坦性	—	3mプロフィールメーター (σ)2.4mm以下 直読式 (足付き) (σ)1.75mm以下							/	□	/	□	/	□	/	□	/	□	/	□
4 舗 装 工	7		路上再生工	幅は延長80m毎に1箇所の割で測定。厚さは、各車線200m毎に左右両端及び中央の3点を掘り起こして測定。		路盤工	厚さ t	-30	/	□	/	□	/	□	/	□	/	□	/	□	/	□				
							幅 w	-50	/	□	/	□	/	□	/	□	/	□	/	□	/	□	/	□		
							延 長 L	-100	/	□	/	□	/	□	/	□	/	□	/	□	/	□	/	□	/	□

施工プロセス検査(出来形) チェックシート

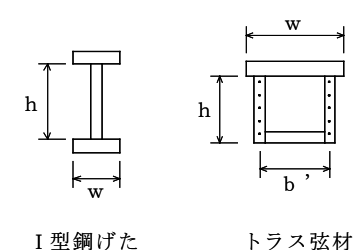
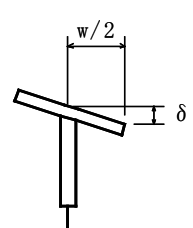
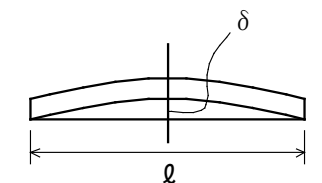
(期間: 年 月 日 ~ 年 月 日)

工事名:	対象箇所:
------	-------

主任検査職員名	印
品質検査員名	印

【道路編:道路修繕】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位: mm

寸法確認			工種	測定基準		測定箇所	測定項目	規格値	上段: 日付・チェック欄、下段: 測定表値(検査値)							備考							
節	条	枝番		鋼げた等	トラス・アーチ等				I型鋼げた	トラス弦材	フランジの直角度 δ (mm)	圧縮材の曲がり δ (mm)	/	□	/		□	/	□	/	□	/	□
3 工場 製作 工	4		桁補強材製 作工	鋼げた等	トラス・アーチ等		フランジ幅 w (m) 腹板高 h (m) 腹板間隔 b' (m)	$\pm 2 \cdots w \leq 0.5$ $\pm 3 \cdots 0.5 < w \leq 1.0$ $\pm 4 \cdots 1.0 < w \leq 2.0$ $\pm (3 + w/2) \cdots 2.0 < w$	/	□	/	□	/	□	/	□	/	□	/	□	/	□	
				床組など	構造別に、5部 材につき1個抜 き取った部材の 中央付近を測 定。				I型鋼げた	トラス弦材	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()
				主げた	各支点及び各支 間中央付近を測 定。		フランジの直角度 δ (mm)	$w/200$	/	□	/	□	/	□	/	□	/	□	/	□	/	□	/
			—	主要部材全数を 測定。 l : 部材長 (mm)		圧縮材の曲がり δ (mm)	$l/1,000$	/	□	/	□	/	□	/	□	/	□	/	□	/	□	/	□

施工プロセス検査(出来形) チェックシート

(期間: 年 月 日 ~ 年 月 日)

工事名:	対象箇所:
------	-------

主任検査職員名	印
品質検査員名	印

【道路編:道路改良】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位:mm

寸法確認			工種	測定基準・測定箇所	測定項目	規格値	上段:日付・チェック欄、下段:測定表値(検査値)							備考		
節	条	枝番					1	2	3	4	5	6	7		8	9
3	2	1	遮音壁支柱 製作工	図面の寸法表示箇所にて測定。	部材	部材長ℓ(m)	±3…ℓ≤10	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □		
							()	()	()	()	()	()	()	()		
							±4…ℓ>10	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	
								()	()	()	()	()	()	()		
9	6		場所打函渠 工	両端、施工継手及び図面の寸法 表示箇所にて測定。	延長 L	基準高▽	±30	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □		
							()	()	()	()	()	()	()	()		
							厚さ t1~t4	-20	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	
								()	()	()	()	()	()	()	()	
							幅(内法) w	-30	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	
								()	()	()	()	()	()	()	()	
							高 さ h	±30	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	
()	()	()	()	()	()	()		()								
								/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □		
								()	()	()	()	()	()	()		
								/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □		
								()	()	()	()	()	()	()		
1	4		落石防止網	1施工箇所毎		幅 w	-200	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □		
							()	()	()	()	()	()	()	()		
							延長 L	-200	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	
()	()	()	()	()	()	()		()								
								/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □		
								()	()	()	()	()	()	()		
1	5		落石防止柵	施工延長40m(測点間隔25mの場 合は50m)につき1箇所、施工延 長40m(又は50m)以下のものは1 箇所につき2箇所。 1箇所毎		高さ h	±30	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □		
							()	()	()	()	()	()	()	()		
							延長 L	-200	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	
()	()	()	()	()	()	()		()								
								/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □		
								()	()	()	()	()	()	()		

施工プロセス検査(出来形) チェックシート

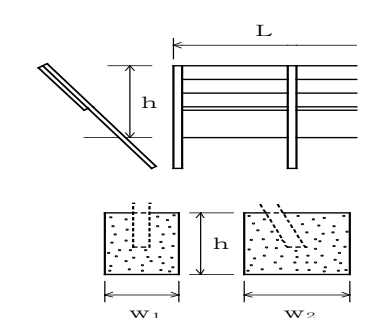
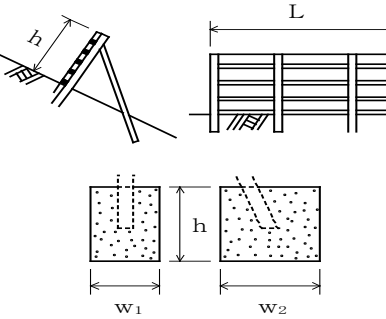
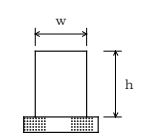
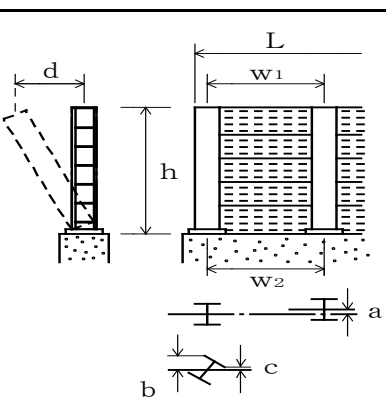
(期間: 年 月 日 ~ 年 月 日)

工事名:	対象箇所:
------	-------

主任検査職員名	印
品質検査員名	印

【道路編:道路改良】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位:mm

寸法確認			工種	測定基準・測定箇所	測定項目	規格値	上段:日付・チェック欄、下段:測定表値(検査値)							備考		
節	条	枝番					1	2	3	4	5	6	7			
1	1	6	防雪柵工	施工延長40m(測点間隔25mの場合は50m)につき1箇所、施工延長40m(又は50m)以下のものは1箇所につき2箇所。 	高さ h	±30	□	□	□	□	□	□	□			
					延長 L	-200	□	□	□	□	□	□	□		□	
					基礎	幅 w1, w2	-30	□	□	□	□	□	□		□	□
			高さ h	-30		□	□	□	□	□	□	□	□			
						1施工箇所毎	高さ h	±30	□	□	□	□	□		□	□
							基礎	幅 w1, w2	-30	□	□	□	□		□	□
				高さ h	-30			□	□	□	□	□	□	□		
	1	7		雪崩予防柵工	施工延長40m(測点間隔25mの場合は50m)につき1箇所、施工延長40m(又は50m)以下のものは1箇所につき2箇所。 	高さ h	±30	□	□	□	□	□	□	□		
						延長 L	-200	□	□	□	□	□	□	□		□
						基礎	幅 w1, w2	-30	□	□	□	□	□	□		□
				高さ h	-30		□	□	□	□	□	□	□	□		
							全数	アンカ打込み ℓ	-10%	□	□	□	□	□		□
				アンカ埋込み ℓ	埋込み ℓ	-5%		□	□	□	□	□	□	□		
			アンカ埋込み ℓ		-5%	□		□	□	□	□	□	□			
1		2	4	遮音壁基礎工	施工延長40m(測点間隔25mの場合は50m)につき1箇所、施工延長40m(又は50m)以下のものは1箇所につき2箇所。 	幅 w	-30	□	□	□	□	□	□	□		
						高さ h	-30	□	□	□	□	□	□	□		□
						延長 L	-200	□	□	□	□	□	□	□		□
		1	5		遮音壁本体工	施工延長5スパンにつき1箇所 	支柱	間隔 w1, w2	±15	□	□	□	□	□	□	□
								ずれ a	10	□	□	□	□	□	□	□
	ねじれ b-c							5	□	□	□	□	□	□	□	□
倒れ d	h×0.5%				□	□		□	□	□	□	□	□	□		
					1施工箇所毎	高さ h	+30, -20	□	□	□	□	□	□	□		
						延長 L	-200	□	□	□	□	□	□	□		

施工プロセス検査(出来形) チェックシート

(期間: 年 月 日 ~ 年 月 日)

工事名:	対象箇所:
------	-------

主任検査職員名	印
品質検査員名	印

【道路編:舗装】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位:mm

寸法確認			工種	測定基準・測定箇所	測定項目	規格値		上段:日付・チェック欄、下段:測定表値(検査値)							備考				
節	条	枝番				個々の測定値(X)	10個の測定値の平均(X10)												
						厚さ	幅	厚さ	幅	厚さ	幅	厚さ	幅	厚さ		幅			
4 舗 装 工			歩道盤工 取合舗装路 盤工 路肩舗装路 盤工	基準高は片側延長40m毎に1箇 所の割で測定。 厚さは、片側延長200m毎に1箇所 掘り起こして測定。 幅は、片側延長80m毎に1箇所測 定。 ※両端部2点で測定する。	工事規模の考え方 中規模とは、1層あたりの施工面積が 2,000㎡以上とする。 小規模とは、表層及び基層の加熱ア スファルト混合物の総使用量が500t 未満あるいは施工面積が2,000㎡未 満。厚さは、個々の測定値が10個に9 個以上の割合で規格値を満足しなけ ればならない。ただし、厚さのデー タ数が10個未満の場合は測定値の平 均値は適用しない。 コア採取について 橋面舗装等でコア採取により床版 等に損傷を与える恐れのある場合 は、他の方法によることが出来る。	基準高▽	±50	—	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □				
						厚 さ	t < 15cm	-30	-10	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □		
							t ≥ 15cm	-45	-15	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □		
								幅	-100	—	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								厚 さ	-9	-3	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								幅	-25	—	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	

施工プロセス検査(出来形) チェックシート

(期間: 年 月 日 ~ 年 月 日)

工事名:	対象箇所:
------	-------

主任検査職員名	印
品質検査員名	印

【道路編:舗装】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位: mm

寸法確認			工種	測定基準・測定箇所	測定項目	規格値	上段: 日付・チェック欄、下段: 測定表値(検査値)							備考		
節	条	枝番					/ □ ()	/ □ ()	/ □ ()	/ □ ()	/ □ ()	/ □ ()	/ □ ()			
5	排水構造物工	9	排水性舗装用路肩排水工	施工延長40m(測点間隔25mの場合は50m)につき1箇所、延長40m(又は50m)以下のものは1施工箇所につき2箇所。	基準高▽	±30	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □			
				1箇所/1施工箇所		()	()	()	()	()	()	()	()			
					延長L	-200	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □			
							()	()	()	()	()	()	()			
7	踏掛版工	4	踏掛版工(コンクリート工) (ラバーシュー) (アンカーボルト)	1箇所/1踏掛版	基準高	±20	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □			
				1箇所/1踏掛版		()	()	()	()	()	()	()	()			
				1箇所/1踏掛版	各部の厚さ	±20	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □		
						()	()	()	()	()	()	()	()			
					各部の長さ	±30	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □		
						()	()	()	()	()	()	()	()			
				全数	各部の長さ	±20	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □		
		()	()	()	()	()	()	()	()							
	厚さ	—	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □						
		()	()	()	()	()	()	()	()							
	全数	中心のずれ	±20	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □					
		()	()	()	()	()	()	()	()							
	全数	アンカー長	±20	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □					
		()	()	()	()	()	()	()	()							
9	標識工	4	1	大型標識工(標識基礎工)	基礎一基毎		幅 w1, w2	-30	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	
								()	()	()	()	()	()	()		
							高さ h	-30	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □	/ □
		()	()	()	()	()	()	()	()							

施工プロセス検査(出来形) チェックシート

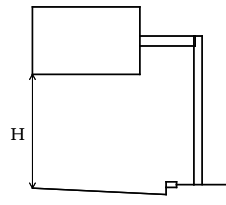
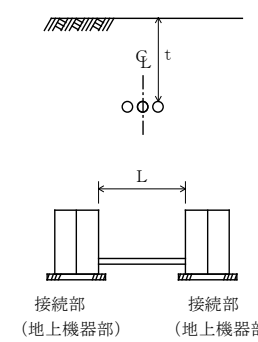
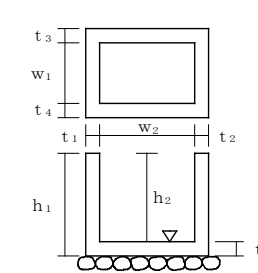
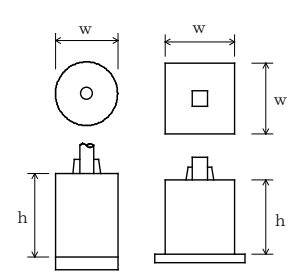
(期間: 年 月 日 ~ 年 月 日)

工事名:	対象箇所:
------	-------

主任検査職員名	印
品質検査員名	印

【道路編:舗装】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位: mm

寸法確認			工種	測定基準・測定箇所	測定項目	規格値	上段: 日付・チェック欄、下段: 測定表値(検査値)							備考			
節	条	枝番					/ □ ()	/ □ ()	/ □ ()	/ □ ()	/ □ ()	/ □ ()	/ □ ()				
9	4	2	大型標識工 (標識柱工)	1箇所/1基		設置高さ H	設計値以上	/ □ ()	/ □ ()	/ □ ()	/ □ ()	/ □ ()	/ □ ()	/ □ ()			
12	5	1	ケーブル配管工	接続部間毎に1箇所		埋設深 t	0~+50	/ □ ()	/ □ ()	/ □ ()	/ □ ()	/ □ ()	/ □ ()	/ □ ()			
				接続部間毎で全数		延長 L	-200	/ □ ()	/ □ ()	/ □ ()	/ □ ()	/ □ ()	/ □ ()	/ □ ()	/ □ ()		
		2	ケーブル配管工 (ハンドホール)	1箇所毎 ※印は、現場打ちのある場合		基準高 ▽	±30	/ □ ()	/ □ ()	/ □ ()	/ □ ()	/ □ ()	/ □ ()	/ □ ()	/ □ ()		
						※厚さ t1~t5	-20	/ □ ()	/ □ ()	/ □ ()	/ □ ()	/ □ ()	/ □ ()	/ □ ()	/ □ ()	/ □ ()	
						※幅 w1, w2	-30	/ □ ()	/ □ ()	/ □ ()	/ □ ()	/ □ ()	/ □ ()	/ □ ()	/ □ ()	/ □ ()	
						※高さ h1, h2	-30	/ □ ()	/ □ ()	/ □ ()	/ □ ()	/ □ ()	/ □ ()	/ □ ()	/ □ ()	/ □ ()	/ □ ()
6		照明工 (照明柱基礎工)	1箇所/1施工箇所		幅 w	-30	/ □ ()	/ □ ()	/ □ ()	/ □ ()	/ □ ()	/ □ ()	/ □ ()	/ □ ()			
					高さ h	-30	/ □ ()	/ □ ()	/ □ ()	/ □ ()	/ □ ()	/ □ ()	/ □ ()	/ □ ()	/ □ ()	/ □ ()	

施工プロセス検査(出来形) チェックシート

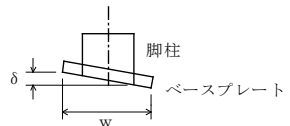

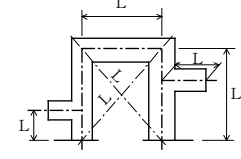
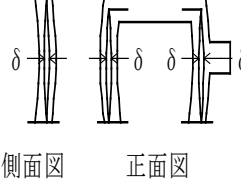
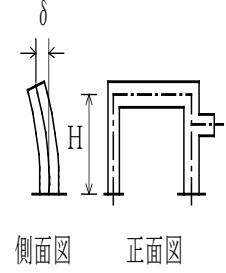
(期間: 年 月 日 ~ 年 月 日)

工事名:	対象箇所:
------	-------

主任検査職員名	印
品質検査員名	印

【道路編: 橋梁下部】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位: mm

寸法確認			工種	測定基準・測定箇所	測定項目	規格値	上段: 日付・チェック欄、下段: 測定表値(検査値)							備考	
節	条	枝番					／ □ ()	／ □ ()	／ □ ()	／ □ ()	／ □ ()	／ □ ()	／ □ ()		／ □ ()
3 工場 製作 工	3		鋼製橋脚製 作工	各脚柱、ベースプレートを測定。		脚柱とベースプレートの鉛直度 δ (mm)	w/500	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
				全数を測定。		()	()	()	()	()	()	()	()		
				全数を測定。		ベースプレートの孔の位置	±2	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
				ベースプレートの孔の径d		0~5	()	()	()	()	()	()	()	()	
				両端部及び片持ばり部を測定。		柱の中心間隔、対角長L(m)	$\pm 5 \cdots L \leq 10m$ $\pm 10 \cdots 10 < L \leq 20m$ $\pm (10 + (L - 20) / 10) \cdots 20m < L$	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
				各主構の各格点を測定。		()	()	()	()	()	()	()	()	()	
各柱及び片持ばり部を測定。		はりのカンバー及び柱の曲がり δ (mm)	L/1,000	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □					
H: 高さ(m)		()	()	()	()	()	()	()	()	()					
						柱の鉛直度 δ (mm)	10...H ≤ 10	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □		
				H...H > 10		()	()	()	()	()	()	()			

施工プロセス検査(出来形) チェックシート

(期間: 年 月 日 ~ 年 月 日)

工事名:	対象箇所:
------	-------

主任検査職員名	印
品質検査員名	印

【道路編: 橋梁下部】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位: mm

寸法確認			工種	測定基準・測定箇所 断面図 正面図	測定項目	規格値	上段: 日付・チェック欄、下段: 測定表値(検査値)								備考						
節	条	枝番					／	□	／	□	／	□	／	□		／	□	／	□		
6 橋 台 工	8		橋台躯体工	橋軸方向の断面寸法は中央及び両端部、その他は寸法表示箇所。箱抜き形状の詳細については「道路橋支承便覧」による。		基準高 ▽	±20	／	□	／	□	／	□	／	□	／	□	／	□		
			厚 さ t	-20	／	□	／	□	／	□	／	□	／	□	／	□	／	□	／	□	
			天 端 幅 w1 (橋軸方向)	-10	／	□	／	□	／	□	／	□	／	□	／	□	／	□	／	□	
			天 端 幅 w2 (橋軸方向)	-10	／	□	／	□	／	□	／	□	／	□	／	□	／	□	／	□	
			敷 幅 w3 (橋軸方向)	-50	／	□	／	□	／	□	／	□	／	□	／	□	／	□	／	□	
			高 さ h1	-50	／	□	／	□	／	□	／	□	／	□	／	□	／	□	／	□	
			胸壁の高さ h2	-30	／	□	／	□	／	□	／	□	／	□	／	□	／	□	／	□	
			天 端 長 l1	-50	／	□	／	□	／	□	／	□	／	□	／	□	／	□	／	□	
			敷 長 l2	-50	／	□	／	□	／	□	／	□	／	□	／	□	／	□	／	□	
			胸壁間距離 l	±30	／	□	／	□	／	□	／	□	／	□	／	□	／	□	／	□	
			支 間 長 及 び 中 心 線 の 変 位	±50	／	□	／	□	／	□	／	□	／	□	／	□	／	□	／	□	
			支 承 の 部 箱 抜 き カ ー 規 格 ボ ルト	計 画 高	+10 ~ -20	／	□	／	□	／	□	／	□	／	□	／	□	／	□	／	□
				平 面 位 置	±20	／	□	／	□	／	□	／	□	／	□	／	□	／	□	／	□
				ア ン カ ー ボ ルト 孔 の 鉛 直 度	1/50以下	／	□	／	□	／	□	／	□	／	□	／	□	／	□	／	□

施工プロセス検査(出来形) チェックシート

(期間: 年 月 日 ~ 年 月 日)

工事名:	対象箇所:
------	-------

主任検査職員名	印
品質検査員名	印

【道路編: 橋梁下部】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位: mm

寸法確認			工種	測定基準・測定箇所	測定項目	規格値	上段: 日付・チェック欄、下段: 測定表値(検査値)							備考												
節	条	枝番					/	□	/	□	/	□	/		□	/	□									
7 R C 橋 脚 工	9	1	橋脚躯体工 (張出式)	橋軸方向の断面寸法は中央及び両端部、その他は寸法表示箇所。箱抜き形状の詳細については「道路橋支承便覧」による。		基準高 ∇	±20	/	□	/	□	/	□	/	□	/	□	/	□							
						厚 さ t	-20	/	□	/	□	/	□	/	□	/	□	/	□	/	□	/	□			
						天端幅 w1 (橋軸方向)	-20	/	□	/	□	/	□	/	□	/	□	/	□	/	□	/	□	/	□	
						敷幅 w2 (橋軸方向)	-50	/	□	/	□	/	□	/	□	/	□	/	□	/	□	/	□	/	□	
						高 さ h	-50	/	□	/	□	/	□	/	□	/	□	/	□	/	□	/	□	/	□	
						天端長 l1	-50	/	□	/	□	/	□	/	□	/	□	/	□	/	□	/	□	/	□	
						敷長 l2	-50	/	□	/	□	/	□	/	□	/	□	/	□	/	□	/	□	/	□	
						橋脚中心間距離 l	±30	/	□	/	□	/	□	/	□	/	□	/	□	/	□	/	□	/	□	
						支間長及び中心線の変位	±50	/	□	/	□	/	□	/	□	/	□	/	□	/	□	/	□	/	□	
						支 承 部 ア ン カ ー ボ ルト の 箱 抜 き 規 格 値	計画高	+10 ~ -20	/	□	/	□	/	□	/	□	/	□	/	□	/	□	/	□	/	□
							平面位置	±20	/	□	/	□	/	□	/	□	/	□	/	□	/	□	/	□	/	□
							アンカーボルト孔の鉛直度	1/50以下	/	□	/	□	/	□	/	□	/	□	/	□	/	□	/	□	/	□

施工プロセス検査(出来形) チェックシート

(期間: 年 月 日 ~ 年 月 日)

工事名:	対象箇所:
------	-------

主任検査職員名	印
品質検査員名	印

【道路編:橋梁下部】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位:mm

寸法確認			工種	測定基準・測定箇所	測定項目	規格値	上段:日付・チェック欄、下段:測定表値(検査値)							備考																			
節	条	枝番					/	□	/	□	/	□	/		□	/	□																
5 R C 橋 脚 工	9	2	橋脚躯体工 (ラーメン式)	橋軸方向の断面寸法は中央及び両端部、その他は寸法表示箇所。箱抜き形状の詳細については「道路橋支承便覧」による。		基準高 ▽	±20	/	□	/	□	/	□	/	□	/	□	/	□	/	□	/	□										
						厚 さ t	-20	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()						
						天 端 幅 w1	-20	/	□	/	□	/	□	/	□	/	□	/	□	/	□	/	□	/	□	/	□	/	□				
						敷 幅 w2	-20	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()				
						高 さ h	-50	/	□	/	□	/	□	/	□	/	□	/	□	/	□	/	□	/	□	/	□	/	□				
						長 さ l	-20	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()			
						橋脚中心間距離 l	±30	/	□	/	□	/	□	/	□	/	□	/	□	/	□	/	□	/	□	/	□	/	□	/	□		
						支間長及び中心線の変位	±50	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()		
						支 承 部 ア ン カ ー ホ ル ト の 箱 抜 き 規 格 値	計 画 高	+10~-20	/	□	/	□	/	□	/	□	/	□	/	□	/	□	/	□	/	□	/	□	/	□	/	□	
							平 面 位 置	±20	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	
					ア ン カ ー ホ ル ト 孔 の 鉛 直 度	1/50以下	/	□	/	□	/	□	/	□	/	□	/	□	/	□	/	□	/	□	/	□							

施工プロセス検査(出来形) チェックシート

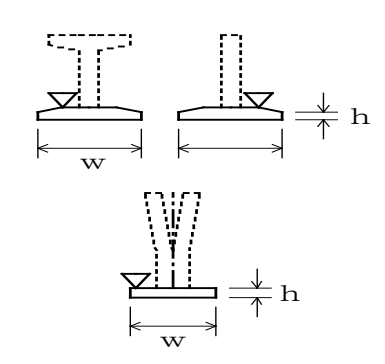
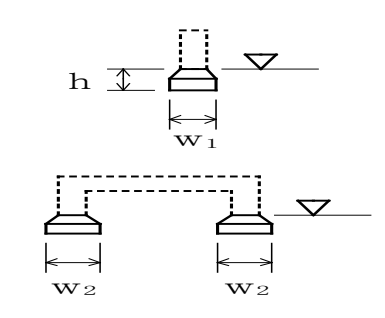
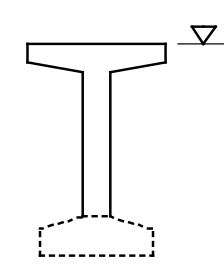
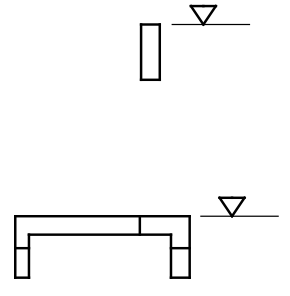
(期間: 年 月 日 ~ 年 月 日)

工事名:	対象箇所:
------	-------

主任検査職員名	印
品質検査員名	印

【道路編: 橋梁下部】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位: mm

寸法確認			工種	測定基準・測定箇所	測定項目	規格値	上段: 日付・チェック欄、下段: 測定表値(検査値)							備考												
節	条	枝番					／	□	／	□	／	□	／		□	／	□	()	()	()	()	()	()			
8 鋼製橋脚工	9	1	橋脚フーチング工(I型・T型)	橋軸方向の断面寸法は中央及び両端部、その他は寸法表示箇所。 	基準高 ∇	±20	／	□	／	□	／	□	／	□	／	□	／	□	()	()	()	()				
					幅 w (橋軸方向)	-50	／	□	／	□	／	□	／	□	／	□	／	□	／	□	／	□	()	()	()	()
					高さ h	-50	／	□	／	□	／	□	／	□	／	□	／	□	／	□	／	□	()	()	()	()
					長さ l	-50	／	□	／	□	／	□	／	□	／	□	／	□	／	□	／	□	()	()	()	()
		2	橋脚フーチング工(門型)	橋軸方向の断面寸法は中央及び両端部、その他は寸法表示箇所。 	基準高 ∇	±20	／	□	／	□	／	□	／	□	／	□	／	□	／	□	()	()	()	()		
					幅 w_1, w_2	-50	／	□	／	□	／	□	／	□	／	□	／	□	／	□	／	□	()	()	()	()
高さ h	-50				／	□	／	□	／	□	／	□	／	□	／	□	／	□	／	□	()	()	()	()		
10	1	橋脚架設工(I型・T型)	橋軸方向の断面寸法は中央及び両端部、その他は寸法表示箇所。 	基準高 ∇	±20	／	□	／	□	／	□	／	□	／	□	／	□	／	□	()	()	()	()			
				橋脚中心間距離 l	±30	／	□	／	□	／	□	／	□	／	□	／	□	／	□	／	□	()	()	()	()	
				支間長及び中心線の変位	±50	／	□	／	□	／	□	／	□	／	□	／	□	／	□	／	□	()	()	()	()	
	2	橋脚架設工(門型)	橋軸方向の断面寸法は中央及び両端部、その他は寸法表示箇所。 	基準高 ∇	±20	／	□	／	□	／	□	／	□	／	□	／	□	／	□	()	()	()	()			
				橋脚中心間距離 l	±30	／	□	／	□	／	□	／	□	／	□	／	□	／	□	／	□	()	()	()	()	
				支間長及び中心線の変位	±50	／	□	／	□	／	□	／	□	／	□	／	□	／	□	／	□	()	()	()	()	
11		現場継手工	主桁、主構の全継手数の1/2を測定。 ※は耐候性鋼材(裸使用)の場合	現場継手部のすき間 δ_1, δ_2 (mm)	5 ※±5	／	□	／	□	／	□	／	□	／	□	／	□	／	□	()	()	()	()			
						／	□	／	□	／	□	／	□	／	□	／	□	／	□	／	□	()	()	()	()	

施工プロセス検査(出来形) チェックシート

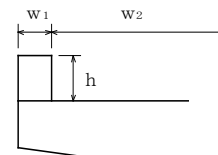
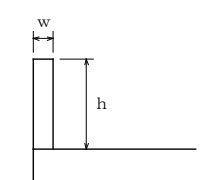
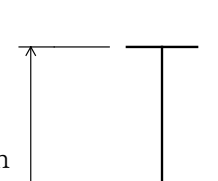
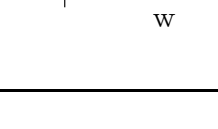
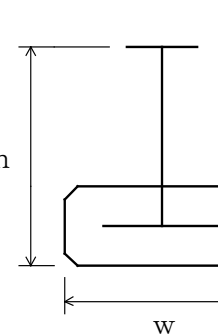
(期間: 年 月 日 ~ 年 月 日)

工事名:	対象箇所:
------	-------

主任検査職員名	印
品質検査員名	印

【道路編: 鋼橋上部】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位: mm

寸法確認			工種	測定基準・測定箇所	測定項目	規格値	上段: 日付・チェック欄、下段: 測定表値(検査値)							備考										
節	条	枝番					／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □		／ □	()	()	()	()	()	()			
3	9		橋梁用高欄 製作工	図面の寸法表示箇所 で測定。	部材	部材長 l (m)	$\pm 3 \dots l \leq 10$ $\pm 4 \dots l > 10$	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	()	()	()	()	()	()				
								()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()
5	1		地覆工	1径間当たり両端と中央部の3箇 所測定。		地覆の幅 w_1	-10 ~ +20	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	()	()	()	()	()	()				
						地覆の高さ h	-10 ~ +20	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	()	()	()	()	()	()	()	()	
						有効幅員 w_2	0 ~ +30	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	()	()	()	()	()	()	()	()	
	8	3		落橋防止装 置工	全数測定 全数測定 D: アンカーボルト径 (mm)		アンカーボルト孔の削 孔長	設計値以上	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	()	()	()	()	()	()			
							アンカーボルト定着長	-20以内 かつ -1D 以内	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	()	()	()	()	()	()	()	()
									／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	()	()	()	()	()	()	()	()
6	7		橋梁用防護 柵工 橋梁用高欄 工	1径間当たり両端と中央部の3箇 所測定。		幅 w	-5 ~ +10	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	()	()	()	()	()	()				
						高さ h	-20 ~ +30	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	()	()	()	()	()	()	()	()	
8			検査路工	1ブロックを抽出して測定。		幅	± 3	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	()	()	()	()	()	()				
						高さ	± 4	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	()	()	()	()	()	()	()	()	
6	2		プレビーム桁 製作工(現 場)	桁全数について測定。 横方向タワミの測定は、プレ ストレス後後に測定。 桁断面寸法測定箇所は、両端部、 中央部の3箇所とする。 l : スパン長		幅 w	± 5	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	()	()	()	()	()	()				
						高さ h	10 -5	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	()	()	()	()	()	()	()	()	
						桁 長 l スパン長	$l < 15 \dots \pm 10$ $l \geq 15 \dots \pm (l - 5)$ かつ -30mm以内	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	()	()	()	()	()	()	()	()	()
						横方向最大タワミ	0.8 l	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	()	()	()	()	()	()	()	()	()

施工プロセス検査(出来形) チェックシート

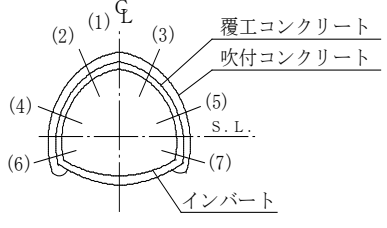
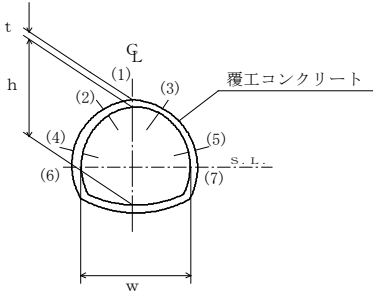
(期間: 年 月 日 ~ 年 月 日)

工事名:	対象箇所:
------	-------

主任検査職員名	印
品質検査員名	印

【道路編:トンネル(NATM)】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位:mm

寸法確認			工種	測定基準・測定箇所	測定項目	規格値	上段:日付・チェック欄、下段:測定表値(検査値)							備考							
節	条	枝番					／	□	／	□	／	□	／		□	／	□				
4 支保工	3		吹付工	施工延長40m毎に図に示す。(1)~(7)及び断面変化点の検測孔を測定。 注)良好な岩盤とは、道路トンネル技術基準(構造編)にいう地盤等級A又はBに該当する地盤とする。		吹付け厚さ	設計吹付け厚以上。 ただし、良好な岩盤で施工端部、突出部等の特殊な箇所は設計吹付け厚の1/3以上を確保するものとする。	／	□	／	□	／	□	／	□	／	□				
								()	()	()	()	()	()	()	()						
	／	□	／	□	／	□	／	□	／	□	／	□	／	□							
	()	()	()	()	()	()	()	()													
4			ロックボルト工	施工延長40m毎に断面全本数検測		位置間隔	—	／	□	／	□	／	□	／	□	／	□				
								()	()	()	()	()	()	()	()						
								／	□	／	□	／	□	／	□	／	□	／	□		
								()	()	()	()	()	()	()	()						
角 度	—	／	□	／	□	／	□	／	□	／	□	／	□								
()	()	()	()	()	()	()	()														
削 孔 深 さ	—	／	□	／	□	／	□	／	□	／	□	／	□								
()	()	()	()	()	()	()	()														
孔 径	—	／	□	／	□	／	□	／	□	／	□	／	□								
()	()	()	()	()	()	()	()														
突 出 量	プレート下面から10cm以内	／	□	／	□	／	□	／	□	／	□	／	□								
()	()	()	()	()	()	()	()														
5 覆工	3		覆工コンクリート工	(1) 基準高、幅、高さは、施工40mにつき1箇所。 (2) 厚さ (イ) コンクリート打設前の巻立空間を1打設長の終点を図に示す各点で測定。中間部はコンクリート打設口で測定。 (ロ) コンクリート打設後、覆工コンクリートについて1打設長の端面(施工継手の位置)において、図に示す各点の巻厚測定を行う。 (ハ) 検測孔による巻厚の測定は図の(1)は40mに1箇所、(2)~(3)は100mに1箇所の割合で行う。 なお、トンネル延長が100m以下のものについては、1トンネル当たり2箇所以上の検測孔による測定を行う。 ただし、以下の場合には、右記の規格値は適用除外とする。 ・良好な地山における岩又は吹付コンクリートの部分的な突出で、設計覆工厚の3分の1以下のもの。 なお、変形が収束しているものに限る。 ・異常土圧による覆工厚不足で、型枠の据付け時には安定が確認されかつ別途構造的に覆工の安全が確認されている場合。 ・鋼アーチ支保工、ロックボルトの突出。		基準高(拱頂)	±50	／	□	／	□	／	□	／	□	／	□				
								()	()	()	()	()	()	()	()						
								幅 w(全幅)	-50	／	□	／	□	／	□	／	□	／	□	／	□
								()	()	()	()	()	()	()	()						
								高さh(内法)	-50	／	□	／	□	／	□	／	□	／	□	／	□
								()	()	()	()	()	()	()	()						
厚さ t	設計値以上	／	□	／	□	／	□	／	□	／	□	／	□								
()	()	()	()	()	()	()	()														
延 長 L	—	／	□	／	□	／	□	／	□	／	□	／	□								
()	()	()	()	()	()	()	()														

施工プロセス検査(出来形) チェックシート

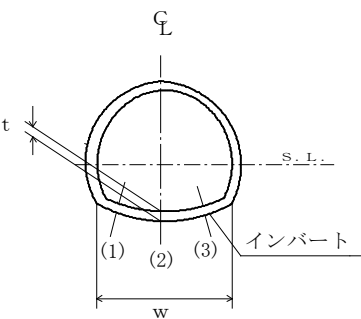
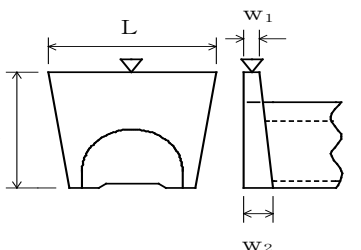
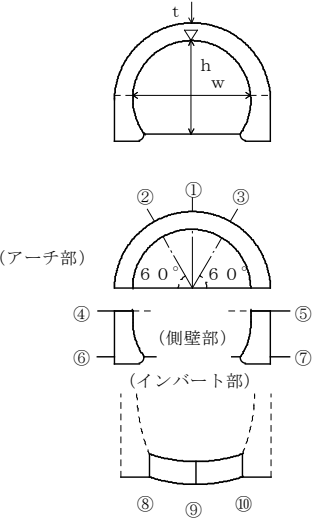
(期間: 年 月 日 ~ 年 月 日)

工事名:	対象箇所:
------	-------

主任検査職員名	印
品質検査員名	印

【道路編:トンネル(NATM)】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位:mm

寸法確認			工種	測定基準・測定箇所	測定項目	規格値	上段:日付・チェック欄、下段:測定表値(検査値)							備考						
節	条	枝番					1	2	3	4	5	6	7							
5	5		床版コンクリート工	施工延長40m(測点間隔25mの場合は50m)につき1箇所、延長40m(又は50m)以下のものは1施工箇所につき2箇所。	幅 w	-50	/	□	/	□	/	□	/	□	/	□	/	□		
					厚 さ t	-30	/	□	/	□	/	□	/	□	/	□	/	□	/	□
6	4		インバート本体工	(1) 幅は、施工40mにつき1箇所。 (2) 厚さ (イ) コンクリート打設前の巻立空間を1打設長の中間と終点を図に示す各点で測定。 (ロ) コンクリート打設後、インバートコンクリートについて1打設長の端面(施工継手の位置)において、図に示す各点の巻厚測定を行う。		幅 w(全幅)	-50	/	□	/	□	/	□	/	□	/	□			
						厚 さ t	設計値以上	/	□	/	□	/	□	/	□	/	□	/	□	
						延 長 L	—	/	□	/	□	/	□	/	□	/	□	/	□	
8	4		坑門本体工	図面の主要寸法表示箇所で測定。		基準高 ▽	±50	/	□	/	□	/	□	/	□	/	□			
						幅 w1, w2	-30	/	□	/	□	/	□	/	□	/	□	/	□	
						高さ h	h<3m	-50	/	□	/	□	/	□	/	□	/	□	/	□
						高さ h	h≥3m	-100	/	□	/	□	/	□	/	□	/	□	/	□
					延 長 L	-200	/	□	/	□	/	□	/	□	/	□				
5			明り巻工	基準高、幅、高さ、厚さは、施工延長40mにつき1箇所を測定。なお、厚さについては図に示す各点①~⑩において、厚さの測定を行う。		基準高(拱頂)	±50	/	□	/	□	/	□	/	□	/	□			
						幅 w(全幅)	-50	/	□	/	□	/	□	/	□	/	□	/	□	
						高さh(内法)	-50	/	□	/	□	/	□	/	□	/	□	/	□	
						厚 さ t	-20	/	□	/	□	/	□	/	□	/	□	/	□	
						延 長 L	—	/	□	/	□	/	□	/	□	/	□	/	□	